

平成 26 年度 事業報告

公益財団法人 佐賀県消防協会は佐賀県民の生命、身体及び財産を火災その他の災害から守るため、消防思想の普及啓発、消防団員等の士気の高揚、消防の団結力を高め、消防技術の向上を図るための事業を行った。

1 公益目的事業 1 (消防思想の普及啓発、消防団員の士気の高揚等の推進)

(1) 第 61 回佐賀県消防大会の開催

平成 27 年 3 月 15 日 (日) 佐賀県との共催で、基山町民会館で開催した。
(参加人員 700 名)

(受章披露)

| | |
|-------------------------------------|-------|
| ◇叙位、叙勲、 | 32 名 |
| ◇県政功労者知事表彰 | 1 名 |
| ◇消防庁長官表彰 | |
| 功労章 | 1 名 |
| 永年勤続功労章 | 37 名 |
| 消防団地域活動表彰 | 1 消防団 |
| 全国消防団員意見発表表彰 | 1 名 |
| ◇日本消防協会表彰 | |
| ① 特別功労章 1 名 ② 表彰旗 1 消防団 ③ 竿頭綬 3 消防団 | |
| ④ 優良婦人消防隊 1 隊 ⑤ 功労章 20 名 ⑥ 精績章 48 名 | |
| ⑦ 勤続章 69 名 ⑧ 優良婦人消防隊員 1 名 | |
| ◇総理大臣感謝状 | 1 消防団 |

(表 彰)

- 佐賀県知事表彰
 - ① 功労章 21 名 ② 永年勤続功労章 47 名 ③ 感謝状 5 名
 - ④ 優良幼年消防クラブ 1 クラブ
- 佐賀県消防協会定例表彰
 - ① 表彰旗 1 団・ ② 竿頭綬 (施設) 2 消防団・ (教養) 3 消防団 (無火災) 1 消防団 ・ ③ 功績章 61 名・ ④ 永年勤続章 194 名
 - ⑤ 表彰状 (女性消防団員) 21 名・ ⑥ 感謝状 12 名
- 「防火に関する標語」入賞者 18 名 (小中高生)
 - ※小学生入賞者には父兄も同伴し、消防大会を熱心に見学していた。

(宣言決議)・・・崇高かつ伝統ある消防精神にのっとり、火災を始めあらゆる災害から県民の生命・身体・財産を守ることを誓う。

次に火災予防と県内消防団のより一層強固な団結力と士気の高揚を図るため、参加者全員で「火の用心」三唱と「佐賀県消防の歌」を高らかに斉唱した。

また、今回から従来、実施してきた1部 表彰、2部 消防団員意見発表を一本化して実施した。

(消防団員意見発表)

| | | | |
|-----------------|--------|------|--------|
| 「地域のために出来る事！」 | 上峰町消防団 | 団員 | 江島 宏嗣 |
| 「消防団活動～あれから10年」 | 白石町消防団 | 副分団長 | 小野 隆 |
| 「ラッパ隊の指導者として」 | 佐賀市消防団 | 副分団長 | 関 正毅 |
| 「島と消防団」 | 唐津市消防団 | 班長 | 前田 奈知子 |

(2) 佐賀県消防殉職者慰霊祭

平成26年10月31日(金)佐賀県消防学校内 慰霊碑前で実施した。佐賀県内の消防殉職者は31柱で、明治7年4月、佐賀市材木町一之橋劇場の火災で崩れ落ちた木材の下敷きになり、亡くなられた故筒井吉兵衛氏が初めての佐賀県消防殉職者である。

慰霊祭当日は御遺族、佐賀県知事、県議会議長、県市長会会長、県市会議長会会長等、多数の御来賓と県内全消防団長、消防長が出席し、厳粛に開催された。

○第33回全国消防殉職者慰霊祭

平成26年9月11日(木)、東京都のニッショーホールで開催された。本県からも遺族3名と協会長、事務局が出席した。

(3) 広報宣伝

消防思想の普及、防火啓発事業、消防防災意識の向上と防火防災思想の普及促進を図るため、次のDVDを購入整備し、整備状況等については協会ホームページに公開した。

「問われる住民の防災力」DVD22分

「いざという時の応急手当」

第1巻・・・応急手当編DVD19分

第2巻・・・AEDと心肺蘇生法DVD23分

○消防団員加入促進

地域防災の要である消防団員の確保のため、ホームページに常時、団員確保のお願いを掲載している。

(4) 表彰

○ 佐賀県消防協会定例表彰

県内の優良消防団（団員）・消防職員・消防協力民間団体を規定により表彰し、佐賀県消防大会において披露した。

・表彰審査会 平成 26 年 12 月 19 日（金）

○ 日本消防協会定例表彰

表彰式は平成 27 年 3 月 10 日、東京ニッショーホールで実施され、各県から上申された団体、団員候補者を選考し、該当団体等の表彰が実施された。なお、佐賀県からの上申者等を選考する表彰審査会は平成 26 年 8 月 8 日（金）佐賀市内で実施した。

2 公益目的事業 2（消防力を強化し、県民の安全・安心に寄与する）

(1) 消防操法大会

○ 第 24 回全国消防操法大会

平成 26 年 11 月 8 日（土）、東京臨海広域防災公園に於いて開催された。この大会には佐賀県代表として太良町消防団が小型ポンプ操法の部に出場

(2) 消防力強化促進

○ 第 14 回佐賀県女性消防団員活性化セミナー

平成 27 年 2 月 1 日（日）嬉野市社会文化会館（リバティ）で開催した。消防団において予防活動、広報活動、救護活動等を担う女性消防団員の知識・技術の向上、団結力の強化を目的として実施した。

式典では佐賀県危機管理・報道監代理として県消防防災課 山下課長、地元、嬉野市長代理 中島副市長、嬉野市議会議長代理 梶原副議長の挨拶があり、引き続き、5 消防団から活動報告がありました。

参加人員は 350 名。協会ホームページに詳細は公開している。

○ 第 20 回全国女性消防団員活性化ちば大会

平成 26 年 11 月 14 日（金）千葉県浦安市舞浜 舞浜アンフィシアターで開催された。佐賀県の参加人員は平成 27 年度開催される第 21 回全国女性活性化佐賀大会踏まえて、参加人は大幅に増加した。県内 13 消防団、佐賀県、県協会事務局から 109 名が参加した。県協会として佐賀大会開催に向けて、情報収集、提供、千葉県消防協会と調整を実施した。

- 第 21 回全国消防団員活性化佐賀大会関連事業
 - ①第 1 回運営委員会（6 月 17 日）②第 1 回実行委員会（9 月 2 日）
 - ③第 2 回運営委員会（10 月 16 日 午前中）
第 2 回実行委員会（10 月 16 日 午後）
 - ④第 3 回実行委員会（平成 27 年 3 月 6 日）
 - ⑤第 3 回運営委員会（平成 27 年 3 月 24 日）
- 日本消防協会 会場事前視察（平成 27 年 3 月 26 日）
秋本会長、生嶋常務理事、大森業務課長、鎌田副主幹

（3）教養訓練等

- 消防団幹部地区別研修会
消防団員を指揮監督する立場の消防団幹部（団長・副団長）の消防団の現状認識や問題意識の共有、情報交換を目的として実施した。

| | | |
|---------------------|-----------|------|
| 平成 27 年 1 月 14 日（水） | 小城市役所会議室 | 43 名 |
| 平成 27 年 1 月 20 日（火） | 基山町民会館 | 32 名 |
| 平成 27 年 1 月 21 日（水） | 唐津市役所大会議室 | 50 名 |
| 平成 27 年 1 月 23 日（金） | 鹿島市民会館 | 39 名 |

○消防団長研修

平成 26 年 5 月 23 日（金）「グランデはがくれ」（佐賀市）において、県と共催で消防団長会議を開催し、会議終了後の研修会では、平成 26 年度佐賀県消防職員意見発表会の入賞者 3 名による意見発表と嬉野市消防団 今村秀雄団長による「嬉野市消防団の現状と今後の方向性について」の消防団長意見発表があった。

○県外視察研修

平成 27 年 2 月 27 日（金）、霧島市広域消防局において実施した。今年度の参加者は 20 名で① 霧島市の災害発生状況と特異な災害等、② 霧島市消防団災害出場体制の現況、③ 霧島市消防団組織の現状と問題点（団員確保等）等についての講話を受け、有意義な研修となった。

- 日本消防協会主催の各研修会への参加者を選考（各地区消防協会長の推薦）し、該当者に対し助成を行った。

- ・ 消防団幹部特別研修（団長・副団長） 上峰町消防団長 大坪安彦
- ・ 消防団幹部候補中央特別研修（男） 佐賀市消防団 谷口紀彦
多久市消防団 梶原泰宏

- | | | |
|--------------------|--------|------|
| | 小城市消防団 | 秋丸昌之 |
| ・ 消防団幹部候補中央特別研修（女） | 唐津市消防団 | |
| | | 桑原加奈 |
| | | 渡辺七重 |

3 公益 1・2 共通事業

- 消防協会九州ブロック協議会 平成 26 年 7 月 24 日（木） 沖縄市
- 日本消防協会役員会議（代議員会）平成 26 年 6 月 10 日（火） 日消会館
- 日本消防協会役員会議（代議員会）平成 27 年 3 月 10 日（火） 日消会館
- 都道府県消防協会事務局長会議 平成 27 年 3 月 3 日（火） 日消会館
（臨時）
- 消防団を中核とした地域防災力充実強化大会
平成 26 年 8 月 29 日（金）東京国際フォーラム 原田会長他 4 名参加
平成 26 年 9 月 29 日（月）東京都市センターホテル 石井事務局長他
2 名参加
- 平成 26 年度消防庁消防団等表彰及び消防団協力事業所表示証交付式
第 1 部 全国消防団員意見発表会
佐賀市消防団 山下 葉月団員 発表

4 共益・その他事業

（1）防火ポスターの募集

県内小中生を対象に各消防本部を通じて募集するもので、各消防本部は県協会の募集要項に基づき管内各小中校に応募をお願いする。応募した作品の中から 2 点を選考し県協会に提出、その中から 2 点を選び日本消防協会選考会に応募した。

日本消防協会での審査結果、残念ながら入選しなかった。また、県協会に応募した全作品に協会長表彰（記念品授与）を実施した。

（2）防火標語の募集

佐賀県等と共催で県内小中高生を対象に防火標語の募集を実施する。入賞者は佐賀県消防大会で表彰した。

（3）弔慰金の贈呈

県協会会員である消防職団員が死亡した場合、遺族に弔慰金を贈呈している。今年度は 10 名の遺族の方に贈呈した。

（4）消防団員支援優遇制度

消防団員確保対策として、佐賀県消防協会と「消防団員を応援する県内各事業所と覚書を交換し、消防団員が身分証明書を提示して、その事業所を利

用するとき、事業所等から何らかのサービスを受ける制度である。

(5) 日本消防協会が実施する消防団員福祉共済事業等

○ 消防団員福祉共済事業(福祉共済・火災共済・消防個人年金)の給付事務並びに加入促進を実施した。

○ 福祉増進事業

消防団員福祉共済に加入者を対象に消防団員の健康保持を目的として健康器具等の購入配布を実施した。また地区消防協会内で団員の健康増進を目的として実施した2地区(松浦地区・杵藤地区)のスポーツ行事に助成を行った。

5 法人管理

(1) 理事会

| | |
|-----------------------|----------|
| 平成 26 年 5 月 13 日 (火) | 佐賀県自治会館 |
| 平成 26 年 5 月 23 日 (金) | グランデはがくれ |
| 平成 26 年 12 月 19 日 (金) | 佐賀県自治会館 |
| 平成 27 年 3 月 6 日 (金) | 佐賀県自治会館 |

(2) 評議員会 (定時・臨時)

| | |
|----------------------|----------|
| 平成 26 年 5 月 23 日 (金) | グランデはがくれ |
| 平成 27 年 3 月 20 日 (金) | 佐賀県自治会館 |

(3) 市町消防団事務担当者会議

平成 26 年 4 月 30 日 (水) 日本消防協会福祉部長の出席を要請し、市町消防事務担当者に対し、日本消防協会の各種事業等について説明、また、事業に対する協力要請等を行った。

(4) 法人管理業務

公益財団法人佐賀県消防協会の運営に関して、必要な管理業務を行った。